



## 1 水俣市が SDGs未来都市になるまで

1956	1992	2001	2011	2020
公式確認 水俣病	市民による もやい直し	宣言 都市づくり 環境モデル	承認 エコタウン	環境首都 日本で唯一 未来都市 SDGs

## 2 SDGsマップに取り組む目的

水俣市民への **SDGsの普及** と水俣市で行われている **SDGsに関連した取組みの周知** をより広く行う。

(水俣市の活動例) 17の Goal に該当する様々な活動を実施している！

- Goal 6：処理する過程で発生する微生物を処理し肥料及び土壌改良剤として販売している。
- Goal 10：グローバル園芸療法センターでは、障がいがある人に「園芸療法」を通して自立を支援している。
- Goal 14：「海と川のクリーンアップ作戦」と題し、水俣川周辺や海岸のごみ拾い活動を行っている。

## 3 慶應義塾大学との共同研究事業における、昨年度までの取組み

2015年 水俣市と慶應義塾大学による連携・協力協定締結、水俣高校とも交流学習を実施している

<p>環境と発電を関連させたデジタルアート作品の製作 (H29・30年)</p> <p>水俣市内に様々なセンサーを設置し、「水俣の環境を視覚的に楽しむ」をコンセプトに、センサーの結果により LED の色を変化させる竹灯籠などのアート作品を制作した。</p>	<p>リガラスと LED を用いたアート作品 (水俣の地図) の製作 (H30・R1年)</p> <p>・リガラスで水俣市内の地図を作成し、市内の SDGs 関連事物や評価を慶應義塾大学植原教授が作成した WEB アプリに投稿する。アート作品に SDGs の目標達成度合いが投影される。</p>

課題： どうやったら多くの人が参加し、より多くのデータが集められるか？

## 4 SDGsMapアプリによって目指すもの

昨年度までの活動を受け、今年度の活動としてまずは以前使用した WEB アプリを使用し、写真をデジタルマップに送信し地図上に表示することで、どこにどんな SDGs に関連したのものがあるのか確認し、改善点等を話し合った。(8月) さらに、アプリを開発するにあたって自分たちがどんなアプリを作りたいのか、何を目的にしてどのような機能をつけたいのか、Miro を使って意見を出し合った。(9月)



学校周辺の SDGs スポットを探索中



みんなの意見を集約、目的を決める

## 5 目的と現在の取組・これからの活動

観光客に楽しみながら水俣の良さを知ってもらい、SDGs についても学んでもらう。  
加えて水俣市の SDGs 的な問題点を観光客に指摘してもらおう。

どのようなアプリを作るべきか？

